JESCO
発行人：中間貯蔵・環境安全事業株式会社　北九州ＰＣＢ処理事業所

北九州 PCB 廃棄物処理事業だより(No.8)

令和３年６月号

■ 廃安定器等の処理促進策を更に推進

自治体の掘り起こし調査等により、処理対象物が大幅に増加してきました。
そこで北九州事業所では、プラズマ炉による効率的な処理を進めるため、安全対策に万全を図りながら、以下のように更なる処理促進策に取り組んでいます。

□安定器の仕分け

「PCB を使用していない安定器の分別」及び「コンデンサー外付け型安定器のコンデンサーの取り外し」を行っています。

□小型電気機器等の真空加熱分離処理装置による処理

従来プラズマ炉で処理していた 3Kg 未満の小型電気機器の一部を、真空加熱分離装置で処理をしています。

□プラズマ溶融分解の処理能力の向上

1．プラズマ炉への投入間隔の短縮を実施しています。
2．1 缶当たりの安定器重量を約 60kg から約 63kg に増量しました。
3．プラズマ炉へ投入するドラム缶の一部を 200L(約 19kg) から 100L(約 7kg) に変更し全体の溶融量を削減しました。

安定器の仕分けの様子

真空加熱分離装置（VTR）

ドラム缶の比較

□安定器分離処理～令和 3 年 4 月より処理開始～

安定器分離処理では、受け入れた安定器を X 線装置に通して、PCB を含むコンデンサー部と、PCB を含まない変圧器部を確認し、切断機で分離します。PCB を含むコンデンサー部は、プラズマ溶融分解処理を行い、プラズマ炉に投入する安定器 1 個あたりの重量を減らして処理を促進します。PCB を含まない変圧器部は、破砕、分別をして、事業所内もしくは外部の無害化処理認定施設で処理を行います。

廃安定器分離処理のイメージ

安定器をＸ線装置に通す

切断箇所を選定し切断

プラズマ溶融分解処理

破砕処理

分離処理

北九州 PCB 処理事業所
もしくは
無害化処理認定施設で処理

■ 第１期施設解体撤去先行工事の進捗状況

令和元年６月１７日にグローブボックス内部機器撤去から始まった第１期施設の解体撤去先行工事は、順調に進み、粗解体設備、グローブボックス本体、破砕設備の解体撤去が完了しました。新たに令和３年５月 24 日からは、先行工事対象の最後となる、真空加熱分離装置・木酢液処理装置の解体撤去に着手しました。

完了した工事は、いずれも周辺環境に配慮しつつ、作業環境の安全性確保を最優先し、無事故で完了しました。

新たに始まった真空加熱分離装置等の工事も、安全を最優先に進めています。

□グローブボックス内部機器の解体撤去

R1.6.17 ～ R1.8.8

グローブボックス内部は高濃度の PCB で汚染されているため、空気ボンベを装着して作業しました。

解体撤去前

解体撤去後

□グローブボックス本体の解体撤去

R2.9.10 ～ R2.11.12

グローブボックス内に残っている PCB に備えて、グローブボックス全体を覆うグリーンハウスを設置して、工事を行いました。

解体撤去前

解体撤去後

□粗解体設備の解体撤去

R2.7.8 ～ R2.10.5

小型機器の解体撤去を行い、作業スペースを確保して、大型機器の撤去を行いました。大型機器の切断には火気器具を使用せず、穴あけ器、電動のこ等を用い、火災に配慮しました。

解体撤去前

解体撤去後

□破砕設備の解体撤去

R3. 1. 4 ～ R3.4.23

作業スペースを確保するため、変圧器の内部部材用の破砕装置を解体してから、コンデンサーの素子用の破砕装置を解体しました。

解体撤去前

解体撤去後

【連絡先】

中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO）　北九州 PCB 処理事業所

［所在地］　〒808-0021　福岡県北九州市若松区響町１丁目 62-24

［連絡先］　☎０９３－７５２－１１１３　［HP］https://www.jesconet.co.jp/facility/kitakyushu/

アザラシの「ぴーちゃん」